



いくせい通信

Smile up!

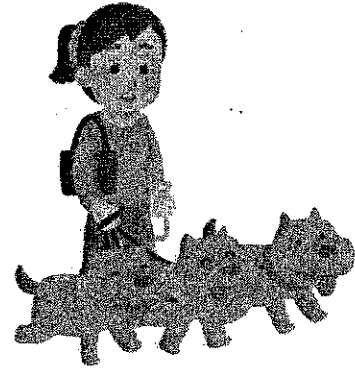
～子どもとメディア 驚くべき数値～

2025.02.25

No.11

酒田市青少年指導センター
酒田中央西町2-5-9
TEL 0234-24-2901

前号で「闇バイト」のことで、高校生が闇バイトと普通のアルバイトの違いをなかなか見分けられないとお伝えしました。しかし、世の中には高額なアルバイトも実際にあるようで、海外の話にはなるのですが、「犬の散歩」のアルバイトで年収**1500万円も稼ぐ**というニュースがありました。もしかすると、そういう日本以外の情報をネットで見ているので、金銭感覚にずれが生じているのかもしれませんが、ただ、“身の丈に合わない高額なお金を欲しがっている”子どもたちであるとは言えるでしょう。つまり「**自立(自律)していない**」人たちです。



でも、そういう人は子どもだけではありません。(下は県内)

10月下旬	山形市女性 50代	FX 投資詐欺	680万円
11月中旬	寒河江市男性 50代	暗号資産詐欺	613万円
12/16	山形市女性 30代	副業詐欺	60万円
1/7	山形市男性 60代	電話料金詐欺	50万円
1/10	山形市男性 60代	携帯電話が止まる	279万円
1/10	山形市男性 40代	ロマンス詐欺	410万円
1月中旬	天童市男性 50代	口座の詐欺疑い	200万円
1/26	山形市女性 70代	息子の浮気示談金	300万円
1/31	酒田市女性 60代	携帯電話が止まる	警察に相談(被害なし)
1月?	山形市男性 60代	ウイルス感染詐欺	90万円
2/1	山形市女性 20代	口座の詐欺疑い	20万円

このように犯人グループはいろいろな手口でわれわれに接触してきて、言葉巧みにお金をだまし取るようです。最近発表された資料によると、SNS 詐欺被害は**昨年度比倍増**の1990億円にも上るそうです。毎日のニュースにもよく取り上げられますが、2024年は**財産を狙う犯罪の増加が目立って**、窃盗や詐欺などによる被害は前年比59.6%増の4021億円に上ったそうです。

手口では、山形県の例を見てもわかるように、虚偽広告で金銭を集める SNS 型投資詐欺(被害額871億円、暫定値)、恋愛感情につけ込みだます SNS 型ロマンス詐欺(同397億円、同)に引っかかる人が増えています。また、電話による「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺の被害も



722億円で過去最悪だったようです。おそらくこれからも、いろんな手口で、姿かたちを変えながら子どもに、大人に忍び寄ってくるはずです。どうかお気をつけください。

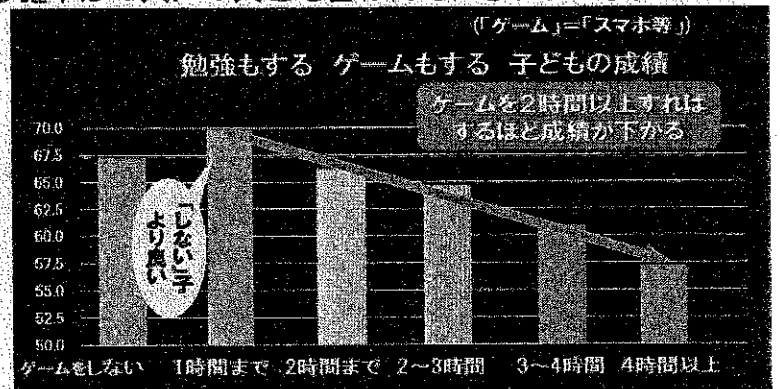
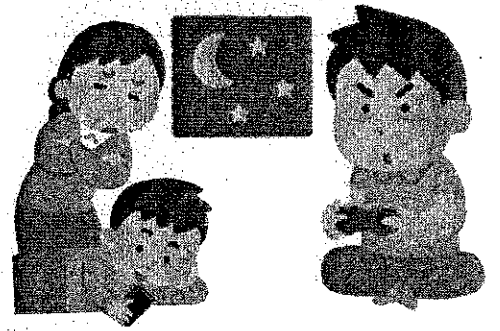
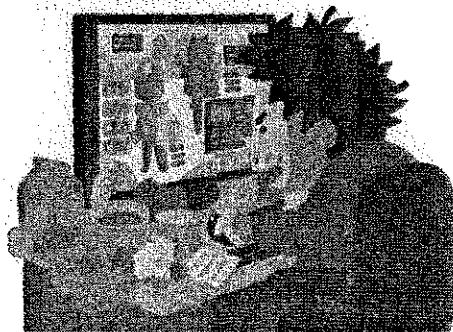
子どもとメディア～驚くべき数値

みなさんは、日本の子どもたちの、平日におけるネット接続時間はどれくらいだと思いますか？自分の周りにいる子どもや孫の様子を見て、何となく「多い！」とは感じているらっしゃると思います。

昨年、子ども家庭庁が発表した令和5年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」報告書には、子どもたちのネット接続についての実態が書かれています。驚くこと

に、平日の平均で小学生（4～6年生）が226.3分（3時間46分）、中学生が282.1分（4時間42分）、高校生にいたってはなんと374.2分（6時間14分）なのです。しかも、3時間以上インターネットを使っている青少年は、小学生で57.3%で、中学生では71.8%となり、高校生になると81.4%にもなっているというのです。ちなみに5時間以上インターネットを利用している高校生は、54.4%と半数を超えているのです。ですから、今後中高生がネット依存になってしまう確率は4人に1人とも言われているようです。

実際にネット接続時間が長いと、子どもたちにどのような影響を与えるかについてはさまざまな研究がなされているようです。「脳トレ」などでも有名な東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授らの研究によると、右のグラフのように、接続時間が2時間くらいまでに収まっていれば、スマホ等をしない子どもたちとほぼ同じ程度の成績をとれるようですが、2時間を超えてしまうと、スマホ等をやればやるほど成績は下がってしまうようです。そして、研究でさらにわかったこととして、3時間以上接続している子どもたちについては、いくら勉強したり睡眠時間を確保したりしても、平均点すら取れない状態になってしまうというのです。ゲームやスマホのやり過ぎで、勉強時間が足りずに成績が下がるのではなく、いくら勉強しても平均点未満の出力しかできなくなってしまうようなのです。



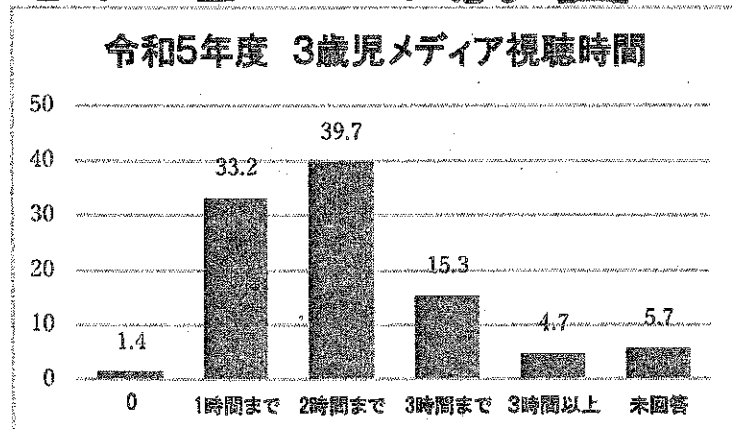
「スマホ等」：インターネットが接続できる機器を指します。

ちょっと恐ろしいと思いませんか？おそらく日本の子どもたちだけでなく、世界中の子どもたちが似た状況だと思われる。だとしたら、世界の未来はどうなっていくのでしょうか？世界的なベストセラー「スマホ脳（アンデシユ・ハンセン著）」によれば、IT企業のトップたちは、わが子にスマホを与えないか、ものすごく制限をかけているということでした。スマホ等の恐ろしさを、それを作った

側として身に染みて理解しているからだそうです。このまま世の中が進めば、スマホ等の影響を受けずに育ってきた非依存症の人間と、スマホ依存、もしくはそれに近い人間の世の中になってしまうような気がしてなりません。

小さい子どもたちへの影響

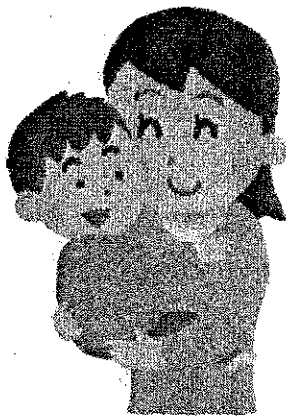
右のグラフは、酒田市健康課で実施している三歳児健診の時のデータです。「メディア」と一言で言っても、テレビやネットに接続して見られるYouTube など、さまざまあると思います。ご覧の通りけっこうな時間メディアに触れています。



前述の子ども家庭庁の調査による

と、インターネット利用率が半数を超える年齢は2歳だそうです。つまり、言葉らしい言葉を発する以前に、もうネットを使っているということなのです。また、WHO(世界保健機関)が定めたガイドラインでは、1~4歳の子どもたちが、そういうメディアを見る時間は1時間未満が望ましいとしています。もちろん科学的根拠をもって主張していることでしょう。

今、核家族で共働き世帯が多い中で、どうしてもメディアに頼る時間は多くなると思います。それは仕方のないことだと思います。われわれだって子ども時代、ひょっこりひょうたん島やらサンダーバードやらのテレビ番組にずいぶんお世話になりました。



ただ、昔と違ってだいぶ脳科学が進歩し、スマホ等がどんな影響を及ぼすのかがわかってきました。そういう子どもに及ぼしそうな悪影響について、知ってはいるけどやむを得ず子どもをメディアに触れさせている場合と、知らずに与えてしまった場合とでは、親の声かけはおのずと違ってきます。ですから、小さなお子さんのいらっしゃるおうちは、まず親自身がそういった知識をある程度身に付けておいた方がいいと思うのです。

スマホイク と アタッチメントの欠如

親の育児の一部をスマホを使って行うことを「スマホ育児」と言いますが、スマホ育児をしてしまうことでおこる悪影響は「アタッチメントの欠如」として語られているようです。本来育児というのは、「視線」や「ぬくもり」「声」など、子どもと養育者が直接的にかかわって行われています。授乳時に子どもと目を合わせるとか、子守歌を聞かせるとか、そういうか

アタッチメント

子どもがある特定の他者とのくっつきを通して、大人に感情を受け止めてもらい、その感情の意味を知り、自分の感情が調節されること。「愛着」

かわりですね。そういうアタッチメントの中から得られる養育者との強い結びつきが重要だと、最近の脳科学や発達心理学で言われているようです。そういう強い絆を安全基地にして、子どもは他者との触れ合いを持ち、コミュニケーション能力を培っていくそうです。何か怖いことがあった時、親に抱っこしてもらって安心し、気持ちが落ち着いたらまた遊びに行くというような様子を思い浮かべてもらえばいいと思います。つまり、そういったアタッチメントは子どもたちが発達していく上で基盤と呼ぶべきものだということです。

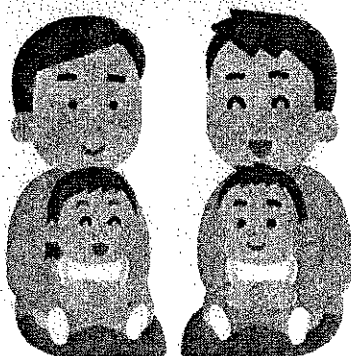
ところが、スマホ育児を多用することで、そういうアタッチメントを子どもが得る機会を阻害してしまいます。東北大学メディカル・メガバンク機構准教授の小原拓先生らの研究によると、メディアを見ている時間、いわゆるスクリーンタイムが4時間以上の1歳児は、1時間未満の子どもと比べると、2歳時の時点でコミュニケーション領域の発達に遅れを生じる割合が4.78倍、問題解決の領域で2.67倍にもなることがわかっています。他にもたくさんの方が研究者がスマホ育児の悪影響について警鐘を鳴らしています。

子育てする親を追い詰めているのは

こういう危険性を理解しながらも、子育てに無理解な周りの大人により、なくなくスマホ育児をせざるを得ないこともあるようです。たとえば、泣く子を見る大人たちの冷たい視線が気になったり、「静かにさせろ！」と自己中心的な大人の罵声に怯えたりして、子どもが好きな動画をスマホで見せざるを得ないという状況です。



こういう状況が影響しているからなのか、子どもを養育している際、わが子が騒ぎ出したり泣きわめいたりしないようにすること、つまり“静かにさせること”が育児と勘違いしてしまいがちです。それにおままごとやお馬さんごっこ、粘土遊びや読み聞かせなど、子どもと一緒に遊んだりするようなひと手間がかかる育児よりも、時間に追われている養育者は、スクリーンを見せたままほったらかしていいスマホ育児にすがってしまうのかもしれませんが。スマホ育児に頼りながら「うちの子はおとなしくていい子だね」なんて思っていたら、後で大変なことになってしまわないかと心配です。



スマホ育児の方が優秀？

積極的にスマホ育児を行っている人の中には、「自分が歌う子守歌より、プロの歌声を聞かせた方が良い」「自分とごっこ遊びするより知育アプリをさせる」と考えている方もいます。

確かに、正解が何かわからない世の中ですが、「人間」が育っていく上で「アタッチメント」は、「食べること」「眠ること」と同じくらい重要に思えてなりません。

カンガエル算数(New)はお休みさせていただきました。先月号の答えは、ボールペン 105円、消しゴム 5円でした。